

刊夕 五廿月二

常磐毎日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告 第一版 一行五元 二行四元 三行三元 四行二元 五行一元
 印刷所 常磐毎日新聞社 印刷機 活字式 印刷機 活字式

霜月寮閑話 (九)

白土五郎

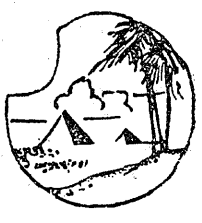
これが迷信か、迷信か人心がある人がめい信は名稱の不可思議、原理から出ると言ふたがどうも至言であるらしい、めい信と云ふとすぐ馬鹿にしてかゝるがこのめい信には恐ろしい力が潜在してゐる。

「その時代の科學智識及び信仰と背反し、その時代の正當なる宗教智識及び信仰と矛盾するものはめい信だ」と言ふてゐるがこれは分つたやうで分らない、この學者の正當なる宗教と云ふ、眞宗とは名号不可思議を強調し「義なきを義とす」と云ふて我々のはからい捨て、佛のはからいに體托すると説くのである。名號不可思議も義なきを義とする科學的智識に背反するものである。

教界の事實である。

この名稱不可思議を信じるとは、この世界の世界でなく本能の世界であり、體驗の世界である。何時の時代に於ても自然の威力と社會的大きな横力に押壓されてゐるこの壓迫から脱れんとするものが(本能)が人身に潜在してゐるこの力が(本能)に信仰と云ふ不可思議なる力加ると何が出るか分らない、向ふ見ずに進んで行く、これで命をとられるものもある。他人にめい惑をかけるものもある。

大本教の信者などよい例である。善いも向へば悪いも向ふ、智識はこれを制裁する權能は持たぬ、却つてその支配下に置かれる。この信仰とは名稱不可思議



一人しみる

ある女の歌へる
 生
 征にさらさら寒ふる窓の灯影、身をよせてむせび弾いたもあの時よ永の別れもあの時よ世間の義理のつらさゆえ晴れて笑顔、雷の結ぶ日を樂しみに待ちますとなぐさめ合ふたも皆な夢うるむ想ひのあの方よ梅咲く屋敷、朝な夕云いがいのない女じやと愚痴になる日もござんしよ

優良工員募集

- 一、募集人員及應募資格
 - 1、少年工 若干名 東ル三月小學校高等科卒業スベキ者
 - 2、中年工 若干名 去ル 月又ハ昭和十年中ノ除隊兵ニシテ成ルベク電氣關係工事ニ經驗アル者
- 二、應募手續

以テ何レモ身體健全、言語明瞭、意志堅固ナルモノニシテ、合格ノ一ハ平營業所ヨリ一里以内ニ居住スルコトヲ要ス

二月二十五日迄ニ白筆ノ履歷書ヲ當營業所ニ提出スル事
- 三、採否決定

面會ノ日時ハ追テ通知ス。採否ハ面會ノト諸調査並ニ身體検査ヲ爲シ、決定シ追テ決定通知ヲ爲ス
- 四、待遇

2、給其他ノ支給ニ關シテハ面會ノ際之ヲ示ス

昭 和 十 一 年 平 町 五 十 日 二 〇

市原卯太郎

小生儀一月二十日以來急性肺炎に罹り静養中の處全治仕り従前の通り診療に従事致し候間此段廣告仕候
 二月二十一日
 田町 市原醫院

有給社員募集

- 一、地方擴張ノ爲男女十數名募集ス
 - 二、資格者 經驗ノ有無ニ不拘指導ス
 - 三、但シ誠義奮闘家ヲ望ム 希望者ハ午前中當出張所へ面談アララシ
- 野村生命保險株式會社
 磐城出張所 平町長橋町四七
 主任 福島 健之

たらちりなべ	三	さしみ御飯	二十五錢
ちりなべ	三	天ぷら御飯	三十錢
あなごなべ	三	海老天ぷら	四十錢
かきなべ	三	海老天ぷら	三十五錢
ねぎなべ	三	海老フライ	三十錢
魚込なべ	三	天井	二十錢
牛なべ	三	親子井	二十錢
なべ豚	三	すし	二十錢
かきフライ	二十	ちらし五もく	二十錢
かき酢の物	二十	御子様すし	二十錢
あんこと酢	十五	まぐろすし	二十五錢
定食		鐵火井	二十五錢
四品	五十錢	鐵火卷	二十五錢
三品	五十錢	好たけ卷	二十五錢
七品	八十錢	あなご卷	二十五錢

魚清食堂

和漆器家具店 和久堂

呼吸疾患救済の王
 陸海軍御用
 帝國大學醫學部御用
 官公立醫學專門學校御用

吸入用 酸素
 體溫計 (メーター)

御用命次第迅速に御届け致します
 平町古鍛冶町一〇縣社下

處方箋調劑所 阿康藥局
 電話 四四番
 振替口座東京三〇五番

市制實現に備へて

授業料その他値上

新財源三千九百餘圓增收

大平市への

市制實現に向つて躍進する平町は都市施設の充實に依つて逐年豫算の目覺ましい膨脹を來たしてゐるが明年度豫算は町債十萬圓の公募を爲す外特別税戸數割一戸平均一圓の増額を計り更に歳入出の均衡を意圖した町當局は歳入面の第二項目使用料及び手数料で増額を爲すことになつた

之は使用料中に含まれた小學校高等科授業料を從

不振の現状打破に

木炭の販賣統制

本年度から實施

近年不振の木炭界に又々今回ノ積雪に依つて木炭の生産積出困難の結果その價格暴騰し消費者を悩ました事實に鑑み縣は先に農産物外各生産物の販賣統制の根本方針を確立新年度を前に一年に實行すべき計畫に着手中の處先づ木炭の販賣統制こそ刻トの急務として取敢へず木炭倉庫の利用を急速に實施し年産一千萬俵を統制し需給の圓滑をはかり今年回の如き不安な状態を來

特別會計設定の件

一、特別會計設定の件
一、上水道敷設事業費繼續分期及支出方法の件
一、上水道希設事業費起債の件 一、昭和十一年度特別會計四倉町上水道布設事業費歳入出豫算上水道布設用地買收の件

分團旗購入

鹿島村在郷軍人分會では先頃來同村矢田川改修工事に分會員十五名が用役して得た就勞金で此の程分會旗を購入した

就勞金で

青年でも尚同村青年團では同じく矢田川改修工事に出役して得た金で背囊十八個を購入した

産組記念

大野村信組の産組記念日である三月三日の産組記念日の催しに當日は役員家の光青年團員が出勤して全

村に宣傳ビラを配布する外各戸を訪問して組合加入を勧誘する

植田信組總會

植田信用組合は來る廿九日午後一時から同小學校一總會を開き本年度事業その他を協議する

綴驛浴場竣工

綴驛鐵道俱樂部の浴場は工費九百餘圓で豫より改築中であつたが今回竣工した

本郡の雪害対策に

縣が乗り出す

先づ過般の被害状況調査

縣經濟部では本月初旬石城郡下を襲つた稀有の降雪が驚異的被害を與へた事實に鑑み濱通り地方に於ける降雪の特異性を検討し農産林業方面の被害を除去するたため左記項目に亘つて舊冬より二月二十五迄の郡下被害状況を調査することになり

特別議會は四月廿日召集、會期は三週間と本日閣議で決定した

平局長出仙 佐藤平郵便局長は來る廿八日より仙臺遞信局で開かれる一二等局長會議に出席の爲め廿六日午後出發する

平土木委員會

平町土木委員會は同町南裏道路開墾敷地買収が大體地主側との交渉纏まつた爲め本日午後一時より會議室で開かれた

局員と家族の

保險映畫


來月十三日平局内で平郵便局は郡内各局の従業員及び家族の保健衛生を普及の爲め來月十六日局内で映畫會を開き左の衛生映畫を上映する

健康の美 榮養の話 山晴る 少年戰士 良き公民

胃と腸

胃腸病でお困りの人

中將湯本浦津村順天堂後援 信頼出来る胃腸薬わかま



胃腸病でお困りの人

こんな時こそ わかま(若舞)を服用すれば驚く程よく効く

食後や空腹の時痛む人
食欲進まず胸やけする人
食た物が再び口に出る人
常習便秘で通じのない人
下痢軟便で固まらない人
食ひ過ぎ飲み過ぎの人
食慾増進薬となる時任と
信賴ある若舞は副作用なし

市内主なる販賣店

東京 高島屋薬品部
東京 津村順天堂
東京 野澤屋薬品部
各地有名薬店

若舞の効能・定價

胃腸病 三拾圓
胃腸病 五拾圓
カタル 胃腸病 一圓也
胃下垂 胃腸病 三圓也
消化不良 胃腸病 五圓也
胃腸病 胃腸病 五圓也

總發元 津村順天堂
東京市本町三丁目二番地
電話 東京 五八八六四
東京 五八八六四

耳鼻咽喉科専門

田町(電話八九一番)

山内醫院

醫學士 山内亨吉

病室設備 自炊便有

電話に躍る 選挙餘談

日一萬三千回

開票日の平局は 最近での記録破り

平局の電話回線は、選挙期間中急激なビツチで回線数を増加して行つたが、殊に天下分日の開票日廿一、廿二兩日に至つては、平常の約二割から倍以上の選挙報告が亂れ飛んで居る廿一日の市外通話申込は七百三通、廿二日は五百十三通といづれも平常の三百九十七通を突破すれば市内電話回線も廿一日が一萬二千九百回、廿二日は一萬二千八百回、これまた平常の一萬九百回を優に突破し、選挙熱の慌だしさを表示して居る。

敬神の諸氏を 知事が表彰

神谷村佐藤庄太郎氏外左記諸氏は同村社立鮮鹿島神社の社務所建設費として、私財を寄附したので、此の程伊藤知事より褒章條例に依つて表彰された。

△四百圓 佐藤庄太郎 △三百圓 佐藤昌壽 △二百七十圓 藤新次郎 △百五十圓 鈴木熊次郎 △百三十圓 佐藤安次郎 △百十圓 井留之助 △百圓 井勝治 △百六十圓 鈴木秀男 △百五十圓 佐藤龜次郎 △佐藤米藏 △百

本郡漁船 カムチヤツカ進出

總數十八隻

備船契約を終り 近く一齊に北海へ

本郡江名豊間小名濱港に船籍を置く二十五噸から八十噸迄の漁船、遠くカムチヤツカ沖の漁業に進出すべく、太平洋漁業會社と備船契約を決定したものは、江名港、十六隻と初の豊間、小名濱各一隻合計十八隻、近く一齊にカムチヤツカ沖に出帆する漁船及び船主左の如くである。

△江名港 喜吉丸 船主坂本喜代松 第二廣運丸 (同戸田廣太郎) 古峰丸 (同白土覺治) 第二進榮丸 (同酒井辰造) 第三萬勢丸 (同加澤一造) 第二東丸 (同高橋源太郎) 清共丸 (同瀧口寛) 福壽丸

家山・色模様極彩展

傑作は追手を豫言する 易者の戀の道行等々々々 魁ける春はなやまし

郡山市柳田町九八料理店齋藤キヨ方酌婦伊達郡福山村大宇秋山生高橋テツ(三)は、去る十年八月前借百四十二圓餘で住込んで以來同市居住の路傍易者西山直衛(三)は、

今夜は晴明日も同様

祝儀一猪股透火他
後八三 長唄「わすみ坂田仙八」
後八五〇 ラヂオドラマ「たぐひ」創作座
後九〇〇 時報ニュース
明日の話題 氣象通報
番組報告

明日の部
前七〇〇 (一)英語講座 石井卓爾

求刑通り 懲役一年言渡

偽書伯玉齋東京市板橋區大谷町居住竹田由次郎(三)の公判は廿五日午前十時半より中區延中島裁判長係り氏家檢察立會、酒井辯護、列席の下に開廷され、中島裁判長より六十七日二千六百八十餘圓の起訴となつた犯罪事實の諷聞かせあり求刑通り懲役二年を言渡された。

竹田玉齋に 懲役一年言渡

茨城縣多賀郡助川町字泉町料理店稻本こと千葉ミヨ方酌婦山内エ子(八)は去る三月小名濱明料理業玉の井方から前借三百五十圓で住替へたばかりで十五日午後一時頃逃走し、名濱に居た當時の情夫労働者住居不明佐藤三郎(三)を頼つて小名濱に來り三郎と共に謀て姿を消したが、平署管内に形跡あり、懸賞金五十圓を附して青くなつた抱主から平署へ

平裁判より

△去る十六日、内郷村高坂字御殿一今野謙治郎方で十賭博開帳中、擧げられた味六名に左記略式罰金言渡があつた。

(五十圓) 内郷村高坂字御殿一坑夫今野謙治郎(三)
(三十圓) 同無職高橋源一(三)
(二十圓) 同同探炭夫喜古朝(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)

島山要司 子供の時間

後八〇〇 子供時間
後八三〇 基礎英語講座
後八五〇 講演と實驗
後九〇〇 新内「明鳥」
後九三〇 新内「明鳥」
後九六〇 新内「明鳥」
後九九〇 新内「明鳥」
後一〇〇〇 新内「明鳥」

前二、三朝 修養道

元禪師の御生涯 曹源
前九〇〇 庭ノエ
前九三〇 母の母
「女學校卒業生」娘
持母親、三福島、音樂
中島雅樂之部也
後〇〇 五新日、音樂
後一〇〇 家庭講座、不良少年、母、谷川教之助
後二〇〇 小學生、二理科の時間、太陽の話、山本清
後三〇〇 教師の時間
「國家主義と教育」福島政雄
後五〇〇 三丘農研特別講座「渡邊茂兵衛」口内兩傘

抱主から
郡山市阿彌陀町四六正美妻中村ミドリ(三)は、昨年十二月家中出捜査中であつたが、最近中野飲食店方、女中嫁ぎしてゐるのを正美、知人が、中野の嫁見ましたからと之は夫から

△去る十六日、内郷村高坂字御殿一今野謙治郎方で十賭博開帳中、擧げられた味六名に左記略式罰金言渡があつた。

(五十圓) 内郷村高坂字御殿一坑夫今野謙治郎(三)
(三十圓) 同無職高橋源一(三)
(二十圓) 同同探炭夫喜古朝(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)
(二十圓) 同同坑夫今野清(三)



瓦解の謎

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

五六 お花の覺悟

加藤能登守の家來森九郎
右衛門のもとへ駈つけたは
同藩士馬淵源十郎
源「森殿、意外な事にござ
る、御當家に居られた内出
萬之助殿は今日坂下御門外
にて安藤侯をおそひし浪士
の黨中のものとのこと、あ
の濃厚な内田殿がこのやう
なことに關係いたし居ると
は神ならずば知るものはあ
りませぬ」

九「拙者もその事について
は意外に思つて居る、娘が
それを聞かば嘸ぞ驚き居る
であらう」
源「それについてお話し申
すことがござる、内田どの
はあの一擧一動に合はぬた
めに、同志のものに申譯な
き次第と長州の桂小五郎の
もとへ参り有備館にて腹を
割いて死んだとのことござ
います」

九郎右衛門これ聞いて
驚いた、それを次の間に
聞いた娘のおその
その「阿父様内田様は御生
害なされたか」
「いつたが九郎右衛門は
この時胸を刺されるやうな
思ひ、しづかに襖をひき
九「馬淵の申すことを聞いて

その「承はりましたござい
ます私の看護をなされた、
めに時刻おくれて大事の場
に臨むこともならず長州様
御屋敷にて御切腹なされた
たか」



その「承はりましたござい
ます私の看護をなされた、
めに時刻おくれて大事の場
に臨むこともならず長州様
御屋敷にて御切腹なされた
たか」

江口水に送られて謹慎を申
付けられた、これは幕府を
憚るため、ところで安藤侯
を襲撃した浪士の一人三島
三郎は多勢を相手に戦ひし
末眼部彦八のために斬られ
て死にました、それが松
平新十郎の別荘に居るお花
のもとに知れた、三島三郎
のためにはお花は肉身の兄
を殺しある、その情人の三
島が望を達せずして斬死を
いたしたはまことに残念、
この上はもう自分も生きて
ゐる甲斐がないとピストル
ケンからゆづられたピスト

はおいたはしいことござ
います
「いつたま、おそのはそ
れに泣き伏したが、終にそ
の夜十九歳を一期として世
を去りました、その事が加
藤侯の重役の聞くとおそ
なり森九郎右衛門は在所近

んな馬鹿なものでも死なう
と決心した上は殺されやう
が自分で咽喉をついて死ぬ
もたやすいこと、苦しい中
に生きて行くが人だらうと
思ひます、お前さんは男の
やうな気性、櫻屋のおはな
といつては鬼のやうな男も
お前さんには冗談一ついふ
ことも出来なかつた、その
男まさりのお前さんがこゝ
で死なうとは、わたしの考
へでは馬鹿々々しいやうに
思はれる、苦しい中を生き
てゐる三島さんの菩提を弔
ひ極樂往生の出来るやうに
したらよからうと思ふんだ
がね、それともお前さんは
こゝで死ぬかえ、お前さん
の命をお前さんが勝手にす
るんだから他人のわたしに
苦情をいふところはなないが
然し死ぬのはおよしなさい
よ、そのピストルをいふ
ものがズドンと音がすると

お前さんはこの世にはゐら
れないよ、まアよく考へて
見るが宜い、何んだねえこ
んな氣味の悪い物を持つて
ゐてさ、イエエお前に渡して
おくことは出来ないよ、い
やだよ死なうなんて馬鹿々
々しいよ」
ピストルを取り上げた。
これを聞いて新十郎ハタと
膝を拍ち
新「これはおたきの申した
ことが道理にかなうて居る
やうに思はれる、死といふ
ことはむづかしいやうでそ
の實は容易なことだ、苦痛
と戦つてそれを征服するが
まことの人が、まづお花よ
と考へて見ろ」
と説きつけられた、こゝ
でお花がこれはこゝで死ぬ
は大死、生きてゐる三島さ
んの志しを継がうと決心し
た。

玉屋洋品店
平町田町通電話五六六番

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學 ● 吉田久雄

ほねのぞき
桑原柔道整骨院
平町園下電話六六四

食事・喫茶・酒場・兼ねた
佛蘭西
御料理
サロシ
平町 電話三五二番

花環 神佛葬具
盛花
久壽玉
御用燈
寶明燈・靈柩自動車
造花
は川新平
屋本橋
三六一電

喜多流謡曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します
平町田町六九
喜多流 白土會
入會隨時
電話一二七番